

令和8年度

棚倉町の概要



福島県棚倉町

(令和8年5月)

町 章



昭和48年11月3日制定
 棚倉町の「た」の字を図案化したもので、町民に融和と団結を表し飛躍する町勢を象徴したものです。

シンボルキャラクター



たなちゃん

あたまには、町の花「つつじ」を月桂冠に見立て、そこからちょんまげがチョコント。スポーツをイメージするギリシャのキトンを身にまとい、足元は「ぞうり」を履いて、元気一杯に躍進していく「たなぐらまち」を表現したものです。

棚倉町町民憲章

棚倉町は、美しい自然にめぐまれ、古い歴史をもつ、由緒ある町です。
 この町をさらに希望あふれる町に育て、後世に引き継ぐことは、私たちのつとめです。
 このため町民みんなの誓いとして、ここに町民憲章を定めます。

- 自然を愛し 緑の町 「たなぐら」をつくりましょう。
- 心身をきたえ 健康な町 「たなぐら」をつくりましょう。
- きまりを守り 明るい町 「たなぐら」をつくりましょう。
- 教養を深め 文化の町 「たなぐら」をつくりましょう。
- 勤労に励み 伸びゆく町 「たなぐら」をつくりましょう。

棚倉町の将来像

◆まちづくりの基本原則

- 『人と人とのつながり』の強化
- 『安全・安心』なまちづくり
- 『産業振興・教育・幸福人口』を重点とした町の魅力の向上

◆将来像

「人と緑と歴史が結び合う幸住空間 ^{こうじゅう}躍動 たなぐら」

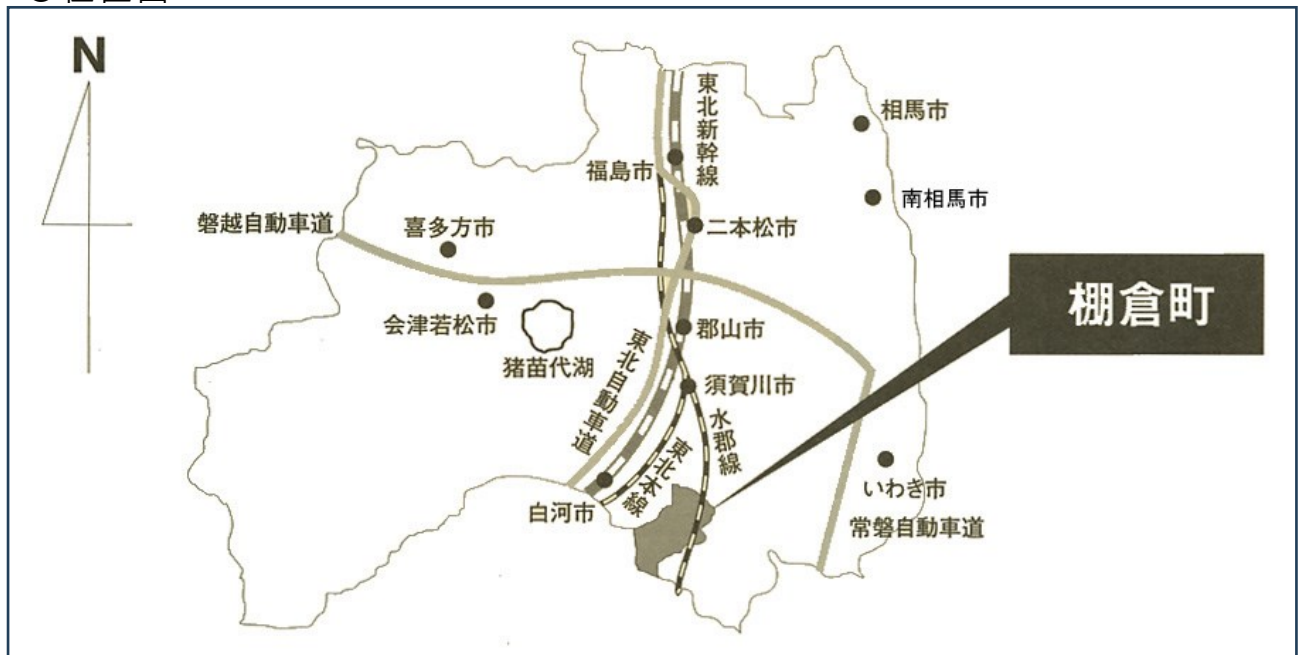
〈行政〉	町長	宮川 政夫	R6/9/8～
	副町長	梅津 俊哉	R8/4/1～
	教育長	荒川 文雄	R3/4/1～
〈議会〉	議長	菊池 忠二	R7/12/12～
	副議長	大竹 盛栄	R7/12/12～

1 位 置

棚倉町は、福島県中通りの南部に位置し、東西19.6km、南北17.4km、総面積は160.07 km²で、東は浅川町と鮫川村、南は塙町と矢祭町、茨城県大子町、西は栃木県大田原市と同県那須町、北は白河市と接しています。

道路は、国道118号線が南北に、289号線が東西に通じ、主要地方道3路線、一般県道7路線が放射状に伸びているほか、JR水郡線が南北に、JRバス白棚線が白河市に通じ、東白川地方の交通の要衝になっており、東北自動車道白河IC及び東北新幹線新白河駅までは車で40分の範囲にあります。

●位置図



●地勢

面積	160.07 km ² (国土地理院発表)
広がり	東西19.6km、南北17.4km
標高	八溝山1,022.2m、役場253.9m
極位(役場)	東経140度22分、北緯37度01分

●市町村間距離



2 沿 革

本町の歴史は古く、胡麻沢遺跡等から発見された石器類により、1 万年以上も前に生活を営んでいたことがわかっており、縄文・弥生・古墳時代においても、町内に分布する出土品から、この地に高い文化が発達していたことがうかがえます。

奈良・平安時代においても、松並平遺跡から、当地方の文化の中心であったことが推測されます。

中世になると、白河結城氏、佐竹氏、伊達氏など有力武士による抗争が繰り返され、江戸時代に入り、慶長 11 年（1606 年）に立花宗茂公が棚倉藩の初代藩主となりました。以後、藩主は 9 家 17 代にわたり、本町は棚倉藩十萬石の城下町として、また政治・経済・文化の中心地、交通の要所として栄えてきました。

なお、元和 8 年（1622 年）に入封した二代目藩主の丹羽長重公が、二代将軍秀忠公の命を受け、寛永 2 年（1625 年）に棚倉城を築城しました。以後、城主は 8 家 16 代にわたり、慶応 4 年（1868 年）の戊辰戦争で落城し、焼失するまでの 243 年間存在しました。

明治 4 年（1871 年）の廃藩置県を経て、同 22 年（1889 年）の町村施行令によって、棚倉町、社川村、高野村、近津・山岡組合村が誕生し、昭和 30 年（1955 年）1 月 1 日に、これら 1 町 3 か村が合併して新生「棚倉町」となり、現在に至っています。

3 自 然

世界的に魅力的な都市が多い北緯 37 度に位置する棚倉町は、清涼さわやかな気象状況にあり、冬は温暖で四季を通じて極めて住みよい自然環境を有しています。

地形については、阿武隈山系に属するなだらかな丘陵地からなる東部地域、阿武隈川水系に属する社川によって拓かれた北部地域、久慈川の源流を有する八溝山系の急峻な山岳地帯で形成されている西部地域、久慈川によって拓かれた南部地域等、極めて変化に富んでおり、農業・林業・畜産とすべてに適した条件を有しています。

気象は、北関東地域に類似し、降水量は適度であり、積雪量も極めて少なく、台風の被害もほとんどみられず、山間地にありながら生活・生産環境としては、恵まれた条件のもとにあります。



4 人口・世帯数

資料：国勢調査（総務省統計局）

年月日	総人口	男	女	世帯数
H17.10. 1	15,795	7,779	8,016	4,803
H22.10. 1	15,062	7,393	7,669	4,708
H27.10. 1	14,302	7,048	7,254	4,734
R 2.10. 1	13,343	6,581	6,762	4,728
R 8. 4. 1	11,930	5,916	6,014	4,718

※R8年の数値は、現住人口調査

産業別人口

資料：国勢調査（総務省統計局）

年	総 数	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
※H22	6,779人	439人	6.5%	2,938人	43.3%	3,402人	50.2%
H27	7,732	765	10.2	3,127	41.8	3,587	48.0
R 2	6,670	525	8.0	2,773	42.3	3,258	49.7

※H22年の数値は、分類不能の産業人口(653人)を含まない。

5 土地利用の現況

資料：2020農林業センサス

区分	総 数	森 林	耕 地				その他
			田	畑	樹園地	小計	
面積 (ha)	15,993	11,880	993	175	8	1,176	2,937
比率 (%)	100.0	74.3	6.2	1.1	0.1	7.4	18.4



6 産 業

(1) 農 業

資料：2020年農林業センサス

経 営 体							※基幹的農業 従 事 者 数
総数	主 業		準主業		副業的		
650経営体	64経営体	9.8%	100経営体	15.4%	486経営体	74.8%	606人

※基幹的農業従事者：ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

主要生産物

資料：米は棚倉町農業再生協議会資料（令和7年作付け実績）

その他は2020農林業センサス等

作目名	米	そ ば	こんにゃく	か き	ト マ ト	ばれいしょ	大 豆	肉用牛頭数
作付面積	923 ha	9.63 ha	1.29 ha	1.45 ha	0.86 ha	2.13 ha	0.38 ha	1,338頭

(2) 林 業

資料：2020年農林業センサス

年	林家数(戸)	面 積 (ha)			林野率 (%)		
		総面積	国有林	民有林	総 計	国有林	民有林
H22	716	11,923	5,550	6,373	74.6	34.7	39.9
H27	688	11,917	5,533	6,384	74.5	34.6	39.9
R 2	608	11,880	5,507	6,373	74.3	34.4	39.8

〔参考〕 町有地 309,401㎡ 分収林 73,238㎡

(3) 商 業

資料：2021年経済センサス-活動調査

年	総 数		卸 売 業		小 売 業	
	商店数	従業員数	商店数	従業員数	商店数	従業員数
※H26	172	940	25	93	147	847
H28	193	1,253	22	99	171	1,154
R 3	162	1,041	20	96	142	945

※H26年の数値は、商業統計・経済センサス

(4) 工 業

資料：経済構造実態調査

年	事業所数	従業員数総数	製造品出荷額等(万円)
R4	51	1,877	8,654,602
R5	51	1,848	8,322,205
R6	51	1,864	8,750,495

7 公共施設の状況 (令和7年度)

小 学 校	3 校	3 1 学 級	児童数533人	※R8.5.1現在
中 学 校	1 校	1 5 学 級	生徒数325人	
幼 稚 園	3 園	1 2 学 級	園児数190人	
保 育 園	1 園		入園児数80人	※R8.4.1現在
給食センター	1 日 当 り 1 , 1 2 8 食			

保 健 福 祉 セ ン タ ー	乳幼児健康診査受診者数	235人
	健 康 診 査 受 診 者 数	1,852人
	が ん 検 診 等 受 診 者 数	7,213人
	母子保健事業参加人数	2,385人
	健康増進事業参加人数	1,660人
	介護予防事業利用人数	8,760人

体 育 館	利 用 人 員	26,229人
運 動 広 場		21,299人
文 化 セ ン タ ー		9,690人
子 ども セ ン タ ー		8,150人

図 書 館	蔵 書	78,752冊
	貸 出 冊 数	28,750冊
	利 用 者 数	23,416人

町 営 住 宅	戸 数	188戸
---------	-----	------

上 水 道	給 水 人 口	12,201人 (うち簡水588人)
	給 水 世 帯	5,007戸 (うち簡水199戸)
	水 道 普 及 率	98.91%
下 水 道	接 続 戸 数	1,570戸 (うち農集排318戸)

8 財政の状況

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令和 7 年度当初予算	令和 8 年度当初予算
一 般 会 計	8,068,000	7,353,000
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	1,235,998	1,195,639
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	172,134	196,739
介 護 保 険 特 別 会 計	1,559,104	1,571,335
霊 園 整 備 事 業 特 別 会 計	703	2,046

上 水 道 事 業 会 計		
収益的収支 収入	365,700	361,665
// 支出	356,104	343,455
資本的収支 収入	130,084	120,714
// 支出	265,237	254,007
簡 易 水 道 事 業 会 計		
収益的収支 収入	69,904	61,508
// 支出	44,446	49,362
資本的収支 収入	29,315	17,044
// 支出	38,234	26,025
下 水 道 事 業 会 計		
収益的収支 収入	333,254	336,118
// 支出	337,305	336,118
資本的収支 収入	162,297	125,632
// 支出	231,001	184,323

9 議 会

議員定数	14人
定例会会議	年4回(3月、6月、9月、12月)
常任委員会	総務常任委員会 9名
	建設経済常任委員会 7名
	厚生文教常任委員会 7名
	広報編集常任委員会 5名



～町のあゆみ～

昭和30年

- 1月 棚倉町、社川村、高野村、近津・山岡組合村の1町3村が合併。新町名を「棚倉町」とし、役場を大字棚倉字城跡2番地に置く
- 1月 合併後初の議会（議員数74名）招集。棚倉小学校講堂で臨時議会開催
- 4月 棚倉城跡で合併祝賀町民観桜大会開催
- 12月 庁舎を城跡2番地に改築
- 12月 合併後初の町議会選挙（定数26名）執行

昭和31年

- 4月 棚倉幼稚園開設
- 10月 町内に初めての舗装道路完成（国道118号線、新町地内、延長436m）

昭和32年

- 4月 各支所の名称を連絡所に改める
- 4月 国鉄バス白棚高速線開通
- 7月 旧町村単位の地区農業委員会が合併し、町農業委員会となる

昭和33年

- 10月 国民健康保険診療所開設

昭和34年

- 11月 水郡線が全面ディーゼル化

昭和35年

- 10月 町商工会設立

昭和36年

- 1月 近津小学校が町内初の完全給食を始める
- 4月 各連絡所の名称を出張所に改める

昭和37年

- 4月 東白川地方衛生処理組合設立

昭和38年

- 3月 社川小学校玉野分校及び近津小学校山本分校が廃校
- 5月 社川小学校校舎改築（木造2階建）

昭和39年

- 1月 棚倉町観光協会設立
- 6月 東白川地方衛生処理組合がし尿汲み取り事業開始

昭和40年

- 1月 近津小学校校舎改築（鉄筋コンクリート3階建）
- 1月 合併10周年記念事業として、行政区対抗駅伝競走開催
- 1月 合併10周年記念式典を行う
- 3月 高野小学校久慈川分校が廃校
- 10月 町道で初めての舗装道路完成（北町地内、延長140m）

昭和41年

- 4月 天王内地内にほ場整備事業で一区画30アールの大型ほ場完成
- 6月 棚倉電報電話局内の電話が手動式から自動式に変わる（加入台数999台）
- 11月 棚倉町助産所開設

昭和42年

- 4月 町社会福祉協議会に心配ごと相談所開設
- 7月 議員定数を削減する条例制定（定数22名）

昭和43年

- 3月 棚倉小学校校舎改築（鉄筋コンクリート3階建）
- 5月 東白川地方衛生処理組合がゴミ収集事業開始
- 5月 「市町村振興計画作成モデル町村」に指定、棚倉町振興計画策定
- 6月 上水道の給水開始（古町、南町、城跡、鉄炮町、下町地内）
- 12月 高野、山岡地区が振興山村地域に指定

昭和44年

- 1月 山岡小学校校舎改築（木造2階建）
- 3月 地域農集電話開通（加入台数1,119台）
- 4月 棚倉幼稚園近津分園開設
- 4月 各出張所を廃止し、本庁に窓口業務を一本化

昭和45年

- 3月 棚倉城跡に中央公民館建設
- 5月 棚倉小学校に学校給食センターが完成し、棚倉幼稚園、棚倉小学校、4つの中学校を対象に給食開始
- 7月 棚倉小学校に町内初の学校プール完成
- 11月 白河地方広域市町村圏整備組合に加入
- 12月 近津地区が振興山村地域に指定

昭和46年

- 4月 4つの中学校が統合され、棚倉中学校となる

昭和47年

- 1月 埼玉県川越市と「友好都市盟約」締結
- 4月 白河地方広域市町村圏白河消防署の分署が町に置かれる
- 8月 川越市と剣道交歓会が始まる
- 11月 「棚倉町町民憲章」制定

昭和48年

- 3月 統合された棚倉中学校の新校舎完成
- 4月 棚倉幼稚園社川分園開設
- 11月 新しい町章、町の木、町の花制定

昭和49年

- 6月 環境週間の一環事業として、河川清掃を始める

昭和50年

- 3月 棚倉幼稚園の園舎完成
- 8月 旧棚倉中学校跡地を棚倉運動広場として整備
- 11月 合併20周年記念式典を行う

昭和51年

- 4月 国土調査（地籍調査）事業が20年計画で始まる
- 7月 旧近津中学校跡地を近津運動広場として整備
- 8月 棚倉農村勤労福祉センター（町民プール）完成

昭和52年

- 1月 旧社川中学校跡地を社川運動広場として整備
- 3月 棚倉町総合体育館完成

昭和53年

- 8月 全国高等学校総合体育大会自転車ロードレース大会開催
- 12月 県内初の町立図書館完成
- 12月 第2次棚倉町振興計画策定

昭和54年

- 2月 高野小学校新校舎完成（鉄筋コンクリート3階建）
- 3月 高野小学校戸中分校が廃校
- 4月 学校給食センターが完成し、町内全ての幼稚園、小学校、中学校を対象に給食開始

昭和55年

- 1月 コンピューターによる住民情報管理システム導入
- 8月 町民総合体育大会を始める
- 10月 棚倉運動広場に夜間照明施設設置

昭和56年

- 3月 棚倉小学校屋内運動場完成

昭和57年

- 3月 ため池跡地を金沢内運動広場として整備
- 4月 高野に第四幼稚園開設
- 9月 役場庁舎を中居野33番地に新築・移転
- 10月 国道118号線バイパス工事着工
- 10月 新庁舎で業務開始

昭和58年

- 3月 町史編さん事業完了
- 3月 高野小学校瀬ヶ野分校が廃校
- 4月 国土庁から「農村総合整備計画」作成市町村に指定
- 9月 議員定数を削減する条例制定（定数20名）

昭和59年

- 5月 川越市と「友好の森林」づくり協定調印式と記念植樹が行われる
- 11月 第1回全日本実業団サイクルロードレース棚倉・塙・矢祭大会開催

昭和60年

- 4月 農村総合整備モデル事業着手
- 4月 山本いこいの村オープン
- 11月 合併30周年記念式典を行う
- 12月 第3次棚倉町振興計画策定

昭和61年

- 9月 スパルタ市と「国際友好都市」締結
- 11月 首都圏在住者で組織する「東京棚倉会」結成
- 12月 リゾートスポーツプラザ「ルネサンス棚倉」の運営会社、株式会社ルネサンス棚倉設立

昭和62年

- 3月 財団法人棚倉町活性化協会設立
- 3月 棚倉町シルバー人材センター設立

昭和63年

- 3月 赤館公園が整備される
- 6月 棚倉町国際交流祭開催

平成元年

- 1月 近津幼稚園園舎完成
- 4月 特別養護老人ホーム「寿恵園」開設
- 10月 「寿恵園」内にデイサービスセンター設置

平成2年

- 4月 ルネサンス棚倉オープン
- 4月 国道118号線バイパス一部供用開始

平成3年

- 3月 社川幼稚園新園舎完成
- 3月 近津小学校屋内運動場完成
- 4月 スパルタ市民公式訪問
- 11月 棚倉六万石太鼓・棚倉バサラ音頭制作発表

平成4年

- 3月 町営住宅西中居団地完成
- 9月 公共下水道事業着手
- 11月 富岡テレビジョン中継施設により民放4社の中継開始

平成5年

- 2月 「寿恵園」内にショートステイ専用床（10床）設置
- 11月 県南地方総合防災訓練実施

平成6年

- 3月 棚倉消防署が館ヶ丘73番地に移転
- 5月 レイクマコーリー市と「国際友好都市」締結
- 6月 棚倉町文化センター建築工事着手
- 7月 ふくしま国体リハーサル大会開催
- 12月 第4次棚倉町振興計画策定

平成7年

- 1月 町防災行政無線一部運用開始
- 3月 ルネサンス棚倉に交流研修館完成
- 10月 第50回国民体育大会（ふくしま国体）開催
- 11月 合併40周年記念式典を行う
- 11月 町文化センター（倉美館）オープン

平成8年

- 5月 町防災行政無線定時放送開始
- 9月 全日本社会人ホッケー大会開催

平成9年

- 2月 社川小学校新校舎完成
- 3月 棚倉町シンボルキャラクター「たなちゃん」誕生
- 4月 町営住宅愛宕平団地完成
- 4月 公共下水道・農業集落排水施設使用開始

平成10年

- 2月 社川小学校屋内運動場完成

平成11年

- 1月 「トークの日」スタート
- 1月 川越市と「災害時における相互応援に関する協定」締結
- 3月 日向前ニュータウン分譲開始
- 9月 棚倉、近津、社川の3郵便局、町内タクシー会社4社と「不法投棄等の情報提供に関する協定」締結
- 10月 棚倉幼稚園で預かり保育スタート
- 10月 棚倉町総合行政情報システム稼働

平成12年

- 3月 棚倉小学校プール完成
- 4月 棚倉町情報公開制度スタート
- 4月 棚倉町都市計画マスタープラン策定
- 10月 ISO14001県内の自治体で初の認証取得
- 12月 国道118号線バイパス開通

平成13年

- 4月 亀ヶ城公園トイレ完成
- 6月 戸籍電算システム稼働
- 8月 地域づくり実践力レッジ in 棚倉開催

平成14年

- 3月 町道富岡・三森線開通
- 3月 国道118号バイパス全線開通（全長1,448m）
- 3月 たなぐら霊園第1期分譲（100区画）
- 4月 棚倉運動広場に「ふれあい駅（公衆トイレ）」完成
- 4月 幼稚園送迎バス運行開始
- 4月 ルネサンス棚倉宿泊客70万人突破
- 7月 棚倉町・埴町・鮫川村合併協議会設置
- 9月 議員定数を削減する条例制定（定数16名）
- 10月 豪州レイクマコーリー市と「国際姉妹都市」調印
- 12月 川越市との交流30周年を迎える

平成15年

- 3月 県道黒磯棚倉線「強梨バイパス」開通
- 4月 棚倉町個人情報保護条例施行
- 4月 保健福祉センター業務開始
- 5月 合併に関する住民説明会が町内各地で開催
- 6月 TMO「株式会社まち工房たなぐら」設立
- 7月 合併の賛否を問う「住民投票」実施
- 12月 たなぐら霊園第2期分譲（130区画）

平成16年

- 2月 八槻都々古別神社「御田植」国重要無形民俗文化財指定
- 4月 棚倉「時の鐘」完成
- 6月 社川小学校プール完成
- 9月 第5次棚倉町振興計画策定

平成17年

- 4月 堀川ダムから受水開始
- 4月 新・棚倉町学校給食センター業務開始
- 6月 つどいの小径ランドオープン
- 7月 城跡多目的広場オープン
- 9月 証明書自動交付機稼動

平成18年

- 4月 町無料職業紹介所開設
- 4月 「石澤家茶室」「八槻都々古別神社大般若經」を町有形文化財に指定
- 9月 県南地方総合防災訓練実施
- 10月 第1回城下町棚倉わくわくフェスタ開催

平成19年

- 4月 幼稚園・小学校において2学期制開始
- 5月 東洋シャフト株式会社と「工場立地基本協定」締結
- 10月 棚倉小学校校舎耐震改修工事完成
- 11月 工房愛あい館オープン

平成20年

- 7月 町内の建設業者10社と「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」締結
- 10月 第20回全国生涯学習フェスティバル in 棚倉開催
- 12月 近津小学校校舎耐震改修工事完成

平成21年

- 4月 棚倉高校と農商高校が統合し、福島県立修明高校が開校
- 12月 国道118号棚倉バイパス工事「宮橋」完成

平成22年

- 4月 棚倉町子どもセンターオープン
- 6月 町内の水道業者10社と「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」締結
- 12月 議員定数を削減する条例制定（定数14名）

平成23年

- 2月 棚倉中学校校舎耐震改修工事完成
- 3月 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発生
- 4月 全国瞬時警報システム（J-ALERT）運用開始
- 6月 棚倉町茶室オープン
- 8月 第35回全国高等学校総合文化祭（ふくしま総文）開催
- 9月 ISO14001永年登録表彰受賞
- 9月 スパルタ市へ招待訪問
- 11月 食品放射能測定システム導入

平成24年

- 1月 棚倉小学校屋内運動場耐震改修工事完成
- 2月 棚倉中学校屋内運動場及び柔剣道場耐震改修工事完成
- 3月 被災により中央公民館解体
- 3月 町内幼稚園園庭、小・中学校校庭土除去完了
- 3月 町内幼稚園、小・中学校空調設備設置完了
- 3月 LED電光掲示板設置（役場庁舎前・磐城棚倉駅前）
- 4月 神奈川県横浜市鶴見区と「友好交流協定」締結
- 6月 備蓄倉庫整備（役場庁舎南側）

平成25年

- 2月 棚倉幼稚園新園舎完成
- 2月 高野小学校（幼稚園）校舎耐震改修工事完成
- 2月 緊急速報メール配信開始
- 3月 町 Facebook 開設
- 3月 JA東西しらかわみりよく満点物語オープン
- 7月 町立図書館完成

平成26年

- 1月 八溝山周辺地域定住自立圏協定締結
- 3月 棚倉町総合体育館耐震補強改修工事完成
- 3月 「流廃寺跡」国史跡指定
- 9月 第6次棚倉町振興計画策定
- 11月 株式会社伊藤園と「自動販売機設置契約に関する覚書」締結
- 12月 「馬場都々古別神社本殿」国重要文化財指定

平成27年

- 2月 「棚倉ふるさと検定」開始
- 2月 株式会社東邦銀行と「包括連携協定」締結
- 4月 棚倉町立図書館指定管理者制度開始
- 4月 しらかわ地域定住自立圏協定締結
- 9月 町ホームページリニューアル
- 9月 日本自動車連盟（JAF）県支部と「観光協定」締結
- 10月 全国京都会議加入
- 10月 第9回市町村対抗軟式野球大会 準優勝
- 10月 棚倉町長期人口ビジョン策定
- 10月 棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 11月 福島大学と「相互協力協定」締結

平成28年

- 2月 証明書コンビニエンスストア交付開始
- 2月 証明書自動交付機終了
- 3月 山岡小学校校舎耐震改修工事完成
- 4月 町税等コンビニエンスストア納付取扱開始
- 4月 棚倉幼稚園3年保育開始
- 6月 棚倉スポーツクラブ設立

平成29年

- 9月 社川幼稚園大規模改修工事完成
- 12月 棚倉町健康づくり交流館(いきいき健幸ぷらざ)オープン
- 12月 棚倉保育園新園舎完成
- 12月 棚倉幼稚園園舎増築工事完成

平成30年

- 1月 近津幼稚園大規模改修工事完成
- 2月 棚倉町八槻観光拠点施設(こんこん)オープン
- 2月 あいたクシー株式会社、有限会社とさわかクシー、有限会社近津タクシーと「災害発生時における要配慮者の輸送協力に関する協定」締結
- 4月 棚倉町立幼稚園全園3年保育開始
- 4月 棚倉町歴史的建造物「八槻家住宅」公開
- 6月 公益社団法人福島県宅地建物取引業協会と「空き家の媒介等に関する協定」締結
- 7月 棚倉町タクシー利用料金助成事業開始
- 9月 県南地方総合防災訓練実施
- 10月 大阪府泉佐野市と「ふるさと逸品協定」締結

平成31年

- 2月 「棚倉城跡」国史跡指定
- 4月 福島県立修明高等学校と「連携協力に関する包括協定」締結
- 4月 ルネサンス棚倉食品加工研究開発施設オープン

令和元年

- 5月 防災行政無線の時報曲を「棚倉へ会いにきて」に変更
- 7月 保健福祉センター内に棚倉町子育て世代包括支援センター開設
- 10月 幼児教育・保育の無償化開始
- 10月 町公式Instagram、たなちゃん公式Twitter開設
- 10月 一般財団法人地域活性化センターと「地方創生に向けた人材育成に関する連携協定」締結
- 10月 郡内4町村で東白川地方自転車活用推進協議会設立
- 10月 令和元年東日本台風(台風19号)による被災

令和2年

- 1月 通年議会を導入
- 3月 第2期棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 6月 棚倉町歴史的風致維持向上計画策定
- 6月 日本郵便株式会社と「包括連携協定」締結

令和3年

- 3月 棚倉城跡保存活用計画策定
- 3月 棚倉町環境基本計画策定
- 3月 児童生徒1人1台タブレット端末整備完了
- 3月 山岡小学校が閉校、棚倉小学校へ統合
- 3月 日本精工株式会社福島工場、堤区と「台風等豪雨災害における一時避難場所に関する協定」締結
- 4月 全町小中学校スクールバス運行開始
- 4月 幼稚園送迎バス使用料無償化
- 5月 ヤマト運輸株式会社と「地域包括連携協定」締結
- 6月 みやぎ生活協同と「地域の見守りの取組みに関する協力協定」締結
- 9月 明治安田生命保険相互会社と「健康増進に関する連携協定」締結

令和4年

- 3月 高野幼稚園が閉園、棚倉幼稚園へ統合
- 4月 棚倉町テレワークスペースオープン
- 12月 株式会社シーズと「子ども育成事業協定」締結
- 12月 株式会社シーズ、流区と「台風等災害時における一時避難場所に関する協定」締結
- 12月 川越市との交流50周年を迎える

令和5年

- 3月 株式会社日本政策金融公庫と「包括連携協定」締結
- 3月 センコークリエイティブマネジメント株式会社と「包括協定」締結
- 3月 棚倉城跡整備基本計画策定
- 10月 福島県及び県内59市町村で「大規模災害時における「ふくしま災害時相互応援チーム」による相互応援等に関する協定」締結
- 11月 日本ホッケー協会からホッケータウンに認定

令和6年

- 1月 藤田建設工業株式会社及び関連グループ企業 SDGs 委員会(加盟五社)と「災害時における非常用食料品(アルファ化米)の供給に関する協定」締結
- 1月 棚倉運動広場大規模改修工事完成
- 3月 災害用トイレトレーラー整備
- 3月 一般社団法人助けあいジャパンと「みんな元気になるトイレ」派遣協力等に関する協定締結
- 3月 社会福祉法人棚倉町社会福祉協議会と「災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定」締結
- 3月 高野地区の指定する小学校を棚倉小学校に変更
- 3月 高野小学校の通学区を町内全区域に変更
- 3月 町公式LINE開設
- 5月 みやぎ生活協同組合と「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」締結
- 10月 株式会社エコスと「災害時における生活物資等の調達及び供給に関する協定」締結
- 10月 株式会社ヨークベニマルと「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」締結
- 11月 佐川急便株式会社南東北支店と「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」締結
- 12月 株式会社カワチ薬品と「災害時における物資の供給に関する協定」締結
- 12月 株式会社薬王堂と「災害時における生活物資等の調達及び供給に関する協定」締結
- 12月 第7次棚倉町振興計画策定

令和7年

- 1月 株式会社リオン・ドールコーポレーションと「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」締結
- 2月 東西しらかわ農業協同組合と「災害時における生活物資等の供給及び協力に関する協定」締結
- 2月 株式会社ダイユーエイトと「災害時における生活必需品物資の供給協力に関する協定」締結
- 2月 棚倉町長期人口ビジョン改訂
- 2月 第3期棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
- 4月 よい仕事おこしフェア実行委員会と「包括的連携協定」締結
- 4月 学びの多様化学校「棚倉中学校分教室」設置
- 6月 学校統合準備委員会・学校統合準備庁内検討委員会設置
- 5月 棚倉町スポーツコミッション設立
- 11月 棚倉城築城400年記念イベントを開催
- 11月 名誉町民奥野善彦氏執筆の棚倉城跡史跡標識建立
- 11月 棚倉町茶室前に友好都市川越市寄贈の「クロモシ」植樹

令和8年

- 2月 児童生徒1人1台タブレット端末更新整備完了
- 2月 学校統合の方向性として「町立学校を1つにして、新しい校舎の「施設一体型義務教育学校」の開校準備を進める」ことを確認
- 3月 高野小学校が閉校、棚倉小学校へ統合
- 4月 保健福祉センター内に棚倉町こども家庭センター開設

